

和名	分類	特徴ほか	会える場所			
			ハイム	多摩川土手 (中野島周辺)	生田緑地	その他
モンキチョウ	シロチョウ科	黄色いのはオス	○	◎	○	全国



多摩川河川敷 ♀ 中野島 3月下旬



多摩川土手 ♂♀判別不可能 稲田堤 8月下旬



多摩川土手 ♂♀判別不可能
キバナコスモスで吸蜜 中野島 10月上旬

成虫発生時期（月）											
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
○ 食草		食樹		発生回数/年		越冬形態					
シロツメクサ、レンゲほか				4~7		幼虫					

モンキチョウという名前は「紋の入ったキチョウ」ではなく、「紋が黄色いチョウ」から来ているようです。オスは全て黄色なのに対し、メスは遺伝型によって白と黄色が出ます。黄色い場合、外観からはオスとメスの判別はつきません（但し黄色の紋はオス・メス共通）。そして属しているのはシロチョウ科・・・ややこしいですね。

ハイムの裏の多摩川土手で4月上旬から飛び始めるシロチョウの間ではモンシロチョウ、ツマキチョウよりも数が多く、飛ぶのが速いのがモンキチョウです。

北アルプスや浅間山系には本種によく似たミヤマモンキチョウという高山蝶が生息していて、羽の縁取りがピンクであることで区別されます。



多摩川土手 稲田堤 8月下旬
アレチハナガサに飛来 右：♀ 左：♂♀判別不可能



多摩川土手 稲田堤 8月下旬 アレチハナガサに飛来



多摩川土手 稲田堤 10月初旬 多摩川の川面を飛ぶ 白いので♀ センダングサが見える